

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026年 1月 5日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	ニッケル.エンド.ライオンズ株式会社
所在地	兵庫県神戸市中央区波止場町6番6号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 大六 剛
担当者連絡先	電話：078-341-7787
	メール：nomura@nickel.co.jp
ウェブサイトURL	<a href="https://www.nickel.co.jp">https://www.nickel.co.jp</a>

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は明治13年(1880年)に創業の物流企業であり、神戸港における港湾サービス(本船荷役、コンテナターミナル荷役、保管など)、陸上輸送サービス、内航船による海上輸送サービスなどの事業展開を行っている。</p>
--


















3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	従業員に対する安全教育を充実させることで、安全に対する意識の向上を図る。	年間の事故発生件数ゼロを目指す。
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	DX導入による生産性の向上と、社員の意識改革を進め、時間外労働を短縮する。	2024年度比で時間外の10%削減を目指す。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	内航船の有効活用によるモーダルシフトの推進	省エネルギー内航船の導入を目指す。

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・人権に関する研修会を実施している。 ・差別的な行為や発言を受けた従業員向けに、社内窓口だけではなく、弁護士を相談窓口として設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント被害を受けた従業員向けに、社内窓口だけではなく、弁護士を相談窓口として設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労務部門で従業員の残業時間をチェックすることにより、特定の従業員に残業が偏らないように配慮している。 ・DXの導入により業務の効率化を進め、残業時間の削減を目指している。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	作業場において労働安全衛生委員会を開催するとともに、安全パトロールによる事故防止のための点検作業を行っている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	年に1回、従業員に対するストレスチェックを実施している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	育児を行っている従業員に対し、短時間勤務制度や時差出勤制度を導入している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	業務に必要な資格の取得者に対し、資格手当を支給している。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	顧問弁護士に相談のうえ、原則に沿って対応している。 給与制度に一部、属人的な要素があるため、社労士に相談のうえ、2026年4月の給与体系改正を目指している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	年に一回以上の定期健康診断を実施している。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	産業廃棄物収集運搬許可を得ている産業廃棄物業者に廃棄処理を委託している。										11.6	12.4 12.5	14.1					
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	電気、ガス、水道、軽油等の使用量の統計調査を行っている。								7.3				13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	ハイブリッド式社用車の導入を進めている。								7.2 7.3			12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6									15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ホームページにおいて情報開示を行っている。										12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	作業場において労働安全衛生委員会を開催するとともに、安全パトロールによる事故防止のための点検作業を行っている。			3.9							12.4							
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	AEO通関業者として認証を取得し、手順書に基づき通関非違率の低減化に努めている。									9								
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	自社で運航する内航船について、「内航船省エネルギー各付け」の取得を目指し、Co2排出対策に取り組んでいる。						6				12	13	14	15				
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4						9	11	12		14	15	17		
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	波止場町通まちづくり協議会の会員として、地域の清掃活動に従事している。				4						11			14	15	17		
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9	11	12	13					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	ホームページにおいて情報開示を行っている。								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	法令遵守のための啓蒙活動として、年に複数回のコンプライアンス委員会を開催している。															16		
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																16		
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																16	17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	内航海運業において、運輸安全マネジメント評価によるPDCAサイクルを行っている。															16		
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	コンプライアンス委員会において、下請法などの各種法令についての説明を行うことで、法令遵守に努めている。															16		
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	震災対策マニュアルと緊急連絡網を整備し、社内共有している。また、防災用品と非常食を備蓄している。									9		11		13.1		16		
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。